

	いただいたご意見	回答	指標案
各種依存症 共通内容	<p>①厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課発行の『薬物問題 相談員マニュアル』付録2 相談時のチェックリスト(例)を参考にしてはどうか</p> <p>②以下の項目を追加されてはいかがでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本人か家族かそれ以外か 2.家族が相談をしている機関の有無・相談をしているなら名称 3.再度、依存に陥ったかどうか 4.再度使用した理由 5.本人の自助グループとの接点状況： すでにつながっているかどうか、何年つながっている、今後繋いでほしいかどうかの希望の有無) 6.自助グループにつながっていても再度使用した理由 	<p>①今後のデータ集積の中で参考にしながら指標に加えられるものを検討していきたいと考えています。</p> <p>②項目追加について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本人、家族(親か配偶者か兄弟か)、知人で集計予定。 2 相談経路で確認。 3 治療歴で確認。 4 電話相談での聞き取りでは限界があるように思われる。 聞き取り方法等についてご意見を頂戴したい。 5 指標へ追加。 6 電話相談での聞き取りでは限界があるように思われる。 聞き取り方法等についてご意見を頂戴したい。 	<p>○相談受付時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢(年代)、性別 ・相談経路(相談歴、通院歴の有無) ・相談者種別(家族、親せき、知人、その他) ・合併症、重複する病気・症状・障害等(例：発達障害との関連など) ・就業状況(無職、非常勤、常勤、学生等) ・生活状況(独居、家族と同居等) ・自傷他害の有無(歴) ・治療歴 ・最終使用 ・依存対象 ・対象物、対象行為の開始時期 ・頻度 ・(相談者が)依存と意識し始めた時期 ・精神症状 ・転帰 ・自助グループとの関係(既にあり、紹介のみ、拒否など) <p>○診療受付時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院期間 ・通院状況 ・入院種別(措置、医療保護、任意)→保護者の立場 ・入院期間 ・SMARPPの実施 ・退院後通院先
薬物依存			<ul style="list-style-type: none"> ・依存対象…覚せい剤、大麻、危険ドラッグ、有機溶剤、処方薬、市販薬等 ・使用年数 ・飲酒の有無 ・逮捕歴 ・救急搬送歴
アルコール依存			<ul style="list-style-type: none"> ・1回に飲酒する量
ギャンブル依存	①FXは一般的によく使われる言葉と考えてよいでしょうか。	①必要に応じて「外国為替証拠金取引」とします。	<ul style="list-style-type: none"> ・依存対象(ギャンブルの種類)…パチンコ、競馬、競輪、競艇、FX(外国為替証拠金取引)等 ・お金に関する問題(借金等) ・1回に使うお金、1ヶ月に使うお金

SMARPP実施者対象	①SMARPPを今まで受けたことがあるかどうか。 外来では実施期間となっていますが、病棟で実施時期としているのはSMARPP終了時期が未定だからでしょうか。	①これまでのプログラム経験の確認については指標に追加します。	<p>○入院SMARPP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別(男女) ・年齢別(～19歳、20～29歳、30～39歳…10歳刻み+65歳以上) ・依存対象(アルコール、薬物、ギャンブル) ・専門プログラムの受講歴 ・実施期間 ・自助グループとの関係 ・当センター外来通院予定の有無 <p>○外来SMARPP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別(男女) ・年齢別(～19歳、20～29歳、30～39歳…10歳刻み+65歳以上) ・依存対象(アルコール、薬物、ギャンブル) ・専門プログラムの受講歴 ・実施期間 ・自助グループとの関係(既にあり、紹介のみ、拒否など)
-------------	---	--------------------------------	--